

森

森小学校だより

平成29年5月8日

学校だより NO.2

協働と創造～地域とともにある学校～

PTA 総会 校長あいさつより

若葉薫る季節となりました。

平成29年度入学式・始業式は、森小自慢のきらきら挨拶で元気に始まりました。今、朝の校庭は、新しい学年・学級にもすっかり慣れた子供たちがボール遊びやランニングをする姿で賑わっています。子どもたちの元気な笑顔は、三木の里の澄んだ空気やさわやかな風、温かな風土に育まれていると感じます。

それでは、本年度の学校の教育方針を説明いたします。



6年生と入場(1年生を迎える会)

校訓「なかよく きまりよく やりぬく」

は、昭和35年制定され、57年の歴史を持つ森小教育の神髄です。

そして、学校教育目標は、「一心に学ぶ子」です。「一心に学ぶ」とは、心を集中して夢中で学ぶこと。そのためには、ちょっと難しいと思われるハードルにも果敢に挑戦するチャレンジ精神や、たとえ転んでもまた起き上がる粘り強い心を育てていくことが肝要です。グランドデザインの中心には、「レッツトライ! ナイストライ!」(自主自立)の合言葉を据えました。他にも、「スタディオン」(一心に学ぶ)や「One for All! All for One!」

(思いやり・絆)などの「心を磨く合言葉」を掲げています。年間を通して、これらの「一心に学ぶ生き方」を一人一人に育ててまいります。「一心に学ぶ」は、心を一つにして、皆と協力するという意味もあります。4月24日、楽しみにしていた一年生を迎える会がありました。2年生は、「朝顔の種とお手紙」、3,4年生は、「歌とリコーダー、鍵盤ハーモニカのハーモニー」、5年生は、「大いなるエール」、6年生は、「ペア学年として元気玉のハート」を1年生に贈りました。森っ子のすばらしいところは、仲良く力を合わせて、6年生のリーダーを中心に良い学校を創っていこうとする気概にあふれているところです。活力ある子供たちの姿こそが、本校の一番の自慢です。

そんな志のある子供たちの期待に応えられるよう、学校経営目標は、「協働と創造～地域と共にある学校づくり～」としました。その中核は「森もり学」です。6年間かけて、地域の暮らしや季節の行事、歴史、伝統、文化、産業など、森の町を学ぶ楽しい郷土学習を「森もり学」と名付けて、「森の町を愛する心」を育てていきます。5月2日の森っ子ペア遠足がスタートです。保護者の皆様や地域の皆様にも、チーム森小の一員となっただき、「森もり学」で「活力ある森小学校」をめざしていきたいと思ひます。

さて、本年度の森中校区一貫教育では、「聞く力・伝える力の向上」をめざします。「きちんと話を聞ける・きちんと話ができる」コミュニケーション力を育て、どの子も夢や志に向かい大きく成長させたいと考えています。保護者の皆様におかれましては、本年度も相変わらずのご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。